

## 正論砂防国際協力序説

渡辺正幸\*

「やめろ！」ザイディ氏は私の腰のバンドを掴んで、高みに登って展望を得ようとする私を厳しく引き止めた。そして私に替わって小山の頂上に立つと手を額にかざして悠々と周囲を見渡した。この間約5分、そして彼は私に告げた。「いいだろう」

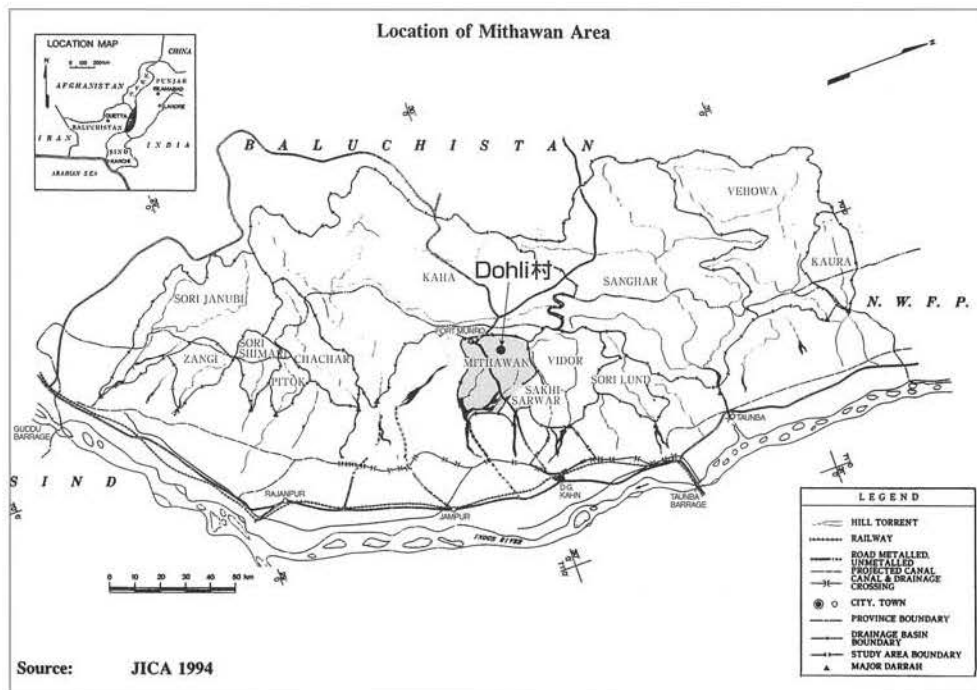
私たちはパキスタンの「西部辺境自治州」の山岳地帯にいた。ここはネパールと中国・チベット国境にあるヒマラヤ山脈がその西端でアラビア海に向かって南に折れ曲がって作るスレイマン山地の入り口である。パキスタンとアフガンの国境地帯にあって、その東側にはインダス河が潤す水と緑のパンジャブの沃野が広がる。

その沃野の西端にある街デラ・ガジ・カーンを出て西南に約1時間走ると岩漠の丘陵地帯に入る。8月。青い空から太陽が熱線を放射してくる。焼け付

くように熱い。温度計は外気温50度を示す。本来直線である道路、電柱、架線のすべては陽炎でゆらゆらと揺れて真っ直ぐなものは全くない。頭がクラクラする。たえず水分を補給しないと脱水症状になる。

高度を上げて山岳地帯をさらに2時間走る。この辺りはインド・プレートがユーラシア・プレートを押ししている現場である。数十メートルもの分厚い岩層がいくつも折り重なり、弓なりに反って天を突き、こらえきれずに折れた破片がその足元に高地を作り、いくつもの大岩層をぶった切りながら流れてきた川が吐き出してきた礫層がその高地を覆う。地殻の激しい動きとそれにも負けない川の営々たる力は偉大だ。

表層にある頭ほどの大きさの礫はイーストを入れて焼いたパンのように表面がはじけている。石にと



\* 元建設省土木研究所砂防部長

ってもこの気候は熱いのだ。

平坦なところに長さ2メートルほどの砂礫の盛り上がりがある。これらはイスラム教に則った墓地であり住民の生活がこの付近にあることを知る。しかし、人の姿は全く見えない。周りはカリカリに乾燥していて緑はかけらもない。時々刺をもつ肉質の植物らしきものが砂礫から頭を出しているのみである。アジヤ鯛を並べておけば旨い干物が大量にできるにちがいない。卵焼きは瞬時にできる。

ザイディ氏は言った。「この土地では誰かが我々を視ているのだ」「ここはパシュトン族の自治区で共和国の行政・警察権は及ばない。無断

でテリトリーに入った異邦人は射殺されても文句は言えないんだ」「俺がまず高みに立つ。その後で君が立てば弾丸は飛んでこない」

ザイディ氏が着ている木綿服の裾が風になびく。

パシュトン族はブレジネフのソ連がアフガンに侵入したときに果敢に戦った部族の一つでスレイマン山地一帯をテリトリーにしている。「羊が行く所ならどんなに急峻でも俺達は行く」と言い、山岳戦のコツを説明する。岩陰からソ連の戦闘機やヘリコプターを撃ち落としたと自慢する人たちである。

目的のドーリの村に近づく。車を降りて灼熱の地面を歩く。黒衣で全身を覆った人が一人、背を向けて路端にうずくまったまま動かない。女性だということはわかるが顔つき・身なり・年齢等は一切判らない。さらに村に近づくと数人の男の集団が来た。全員ライフルを持ち肩に弾帯を掛けている。挨拶をしたが返辞がない。髭の中から猜疑心の塊といったきつい眼が覗く。無礼な奴等だ。

私はパキスタン政府の要請に応じて、国際協力事業団が国連の食糧農業機構と共同で実施する「ミタワン流域保全事業」に関する協議をするために現地視察を行っていた。



パキスタン・パンジャブ州ドーリ村のプロジェクトサイト  
河岸段丘の上に立地しているため護岸、水制等が必要である。

事業の対象であるドーリ村は灼熱の岩漠地帯にある桃源郷であった。約2平方キロある山中の平坦地には木や草の緑がありその中に家屋が点在している。干物になりかけていた身にも心にも救われたとの思いが染み渡った。村の中には数箇所の泉があるがその内の二つだけがスイート・ウォータとされる。残りは塩を含んでいて辛い。ドーリの住民はこのスイート・ウォータを飲用にしている。

村にはチョティ・ナラという川がある。ナラは川の意である。村がある土地はその氾濫原であり既に段丘化している。流域面積は数百平方キロもあるが乾季なので流量は1トンもない。村人はこの水を灌漑に用いて小麦と野菜を自給用に使っているが、主たる生業は羊の放牧である。草

地を追って羊を放牧し、頭数を増やし肥育して近くの市場に出して金に替える。羊は貴重な食糧であり動く札束である。

流域保全事業の目的はこの地域の農業生産性を上げることである。ここもご多分にもれず人口が増加し、何人かは山を下りてパンジャブや中東へ出稼ぎに行くが、教育レベルの低い村人に高い収入の機会はない。そこで、人口が希薄で未利用地が多い山岳地域の農業生産性を上げて人口収容量を大きくしようとする遠大な政策である。ミタワン流域の事業の成果をこの国の半分を占める広大な山岳地域に普及させようと考えているのである。

したがって、この事業がうまく行くと、その成果はパキスタンだけでなく近隣のアフガン、イランそして中央アジアや中東の乾燥地域の住民の生活向上に役立つはずである。しかし、なぜパキスタンの乾燥岩漠地帯？ なぜ遊牧民社会？ 日本の砂防となんの関係が…あるの？

そうです！ 日本の砂防にはおおいに関係があるのです！ 日本の砂防の心に繋がるのです。そして、21世紀の砂防と私たちの生きるみちに関係すると私は考えています。そのところについて次回から絵解きをしましょう。お付き合いください。